

シーリングニュース

多
青



目次

- ◎シーリング材をめぐる最近の石油事情…………… 2～3
- ◎1級シーリング管理士(第2回)誕生!…………… 4
- ◎「よいシーリング工事とは…」—討論会を開催— 5～7
- ◎業界動向…………… 8
- ◎本部だより…………… 9
- ◎短歌・俳句・随想…………… 10



昨年12月開催のOPEC（石油輸出国機構）総会において、54年中に、4回に分け原油価格を14.5%値上げをすることが決定された。ついで本年3月27日の同臨時総会において、上記決定を4月1日に繰上げ実施を決め、さらに上乗せ価格（1バーレル4ドル以内）は各産油国に一任されることで決まった。また、7月以降の原油価格は、次回、6月開催のOPEC総会に付議決定することとなった。

これにより、4月現在、原油は前年比現地ドル建て価格17%、ナフサは国内平均価格で同25.3%と高騰する結果となった。

シーリング材に関連する石油化学誘導品の供給は、現在の所一応平静を維持しているが、原料価格は、全面的に値上りの態勢に入り、その結果比較的付加価値の少ないシーリング業界では、各企業の内部努力により吸収し得る限界を超えるに至り、もはやシーリング材価格への波及は必至の情勢となっている。

1. わが国の原油輸入状況

50～52年のわが国の原油輸入量は、世界生産量の約8%を占め、最近3年間の原油輸入量（同見込みを含む）は下表の通りである。

	51年	52年	53年	54年(1～3)	備考
輸入量 百万kl	269	278	270	74	54.3末備蓄日数82日分
前年比%	—	+3	-3	—	
CIF価格 千円/kl	23.5	22.9	20.8～16.3	17.1～	(到着価格)

最近3年間の原油
輸入量と価格

2. わが国のナフサ事情

石油化学誘導品の主原料となるナフサは、原油よりの国内生産と輸入とにより賄われている。

最近、輸入原油の重質化と石油製品の需要構造の変化とにより、ナフサの輸入比率は増大の傾向にあり国産60%・輸入40%の比率にいたるものと推測される。

ナフサの国産と輸入の数量および価格推移は別図の通りである。

3. わが国をとりまく海外事情

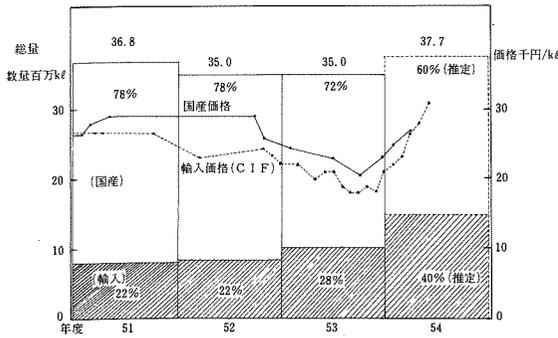
西ヨーロッパのナフサの供給が逼迫し、価格が急騰している。従来、西ヨーロッパへはソ連及び東欧諸国からナフサが供給されていたが、イランの政変で燃料用天然ガスのパイプラインがストップし、ナフサを燃料用に転用したため、西ヨーロッパへの供給が減少するにいたった。

西ヨーロッパでの契約価格は、昨年来150ドル/トンであったが、本年3月には190ドル/トンに高騰し、4～6月は240ドル/トンになるものと予測されている。

一方、米国では自動車用ガソリンのオクタン価改良剤として使用するナフサを原料とするトルエンの生産が急増し、需要をさらに圧迫する原因となった。

4. ナフサの国内価格

従来より、ナフサは、国産価格と輸入価格の2本立で



ナフサの需要(国産と輸入比率)生産および価格

取引が行われていた。国産価格は4半期ごとに決められていて53年4~6月期は23,000円/klであった。その後、円高差益還元のため、価格未定のまま現在、仮払により取引が行われており、目下、石油精製メーカーと石油化学メーカーとの間で価格交渉が行われていて、近く決定を見る模様である。

一方、輸入原油の重質ものの増加と、石油製品の需要構造の変化とにより、ナフサは今後、**国産60%、輸入40%**程度に変わってゆくものと推定されている。4月現在、国産は**28,000円/kl**、輸入品**29,500円/kl**で算定すれば、石油化学メーカーの平均入手価格は**28,600円/kl**となり、これ

は前年比**25.3%**の値上りとなっている。

5. シーリング材に関連する石油化学誘導品の動向

上記のように、ナフサ価格の高騰により、54年4月のエチレン価格102円/kg(前年比**24%アップ**)プロピレン75円/kg(前年比**34%アップ**)となり、状況如何によってはさらに上昇へと向うことも考えられる。

シーリング材の原料となる石油化学誘導品の価格値上げは種別品目により一様ではないが、各シーリング材メーカーに対し、値上げの通告があり、一部のものは、既に実施に移され、または交渉に入っている。

シリコン系シーリング材の主原料は直接石油から誘導される化学製品ではないが世界的な金属珪素の値上り、メタノールの不足による塩化メチルの値上りに直面している。

主原料の値上げは、第1次(12~2月)は陥没価格の修正目的で実施され、第2次(3月以降)が現在実施されており、4月以降に及ぶものもある。

シーリング材に関連する原料供給は、当面、溶剤を除いて不安はない。従って、前回の石油危機時のような仮需の増大は避けねばならない。

シーリング材関連石油化学誘導品の価格修正動向は別表の通りである。

■シーリング材関連主原料の価格推移

	関係シーリング材	価格アップ率		備考
		第1次修正額(12月~2月)値上げ率	第2次修正額(3月以降)値上げ率	
◎主要原料(石油化学製品)				
エチレンオキシド	ポリサルファイド系	(1~3月)20%	(4月~)14%	玉不足
プロピレンオキシド	変成シリコン系	—	(3月)11% (4月)5%	◇
プロピレングリコール	ポリウレタン系	(2月)5%	(4月)11%	◇
トルレンジイソシアネート		—	(4月)15%	◇
ブチルゴム	ブチルゴム系	—	(5~6月)10%	◇
ポリブテン	油性	—	(4月)10%	◇
アクリル酸エステル	アクリル系	(1月)20%	(4月)5%	◇ 輸出停止 国内充当
◎主要原料(シリコン系)				
金属珪素	シリコン系	—	(4月)30%	なお、強含み
メチルクロライド		(2月)10%	—	
◎溶剤				
ベンゼン		(2月)17%	(4月)30%	極端な玉不足 価格はマチマチである。
トルエン		17%	20%	
キシレン		17%	20%	
◎可塑材				
D O P	ポリウレタン・アクリル系	(2月)6%	(4月)13%	

注 1. 価格はローリーの問屋伸値による。

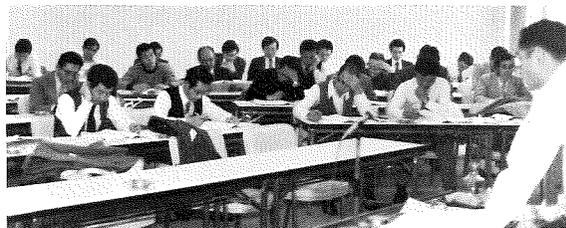
(第2回)

1級シーリング管理士誕生!



去る3月2日(金)から4日(日)までの3日間、生産性研修会館(静岡県・函南町)において、1級シーリング管理士養成講習会を開催した。参加者(受講者)は、34名、会員会社からも31名の聴講者が出席した。

さらに、3月27日(火)東京・大阪の両会場における試験を経て、第2回1級シーリング管理士8名が誕生した。



★合格された方々★

東京 斗成隆 大和興業(株)

大阪 大西利昭 三大工業(株)

東京 鶴田正行 山栄興業(株)

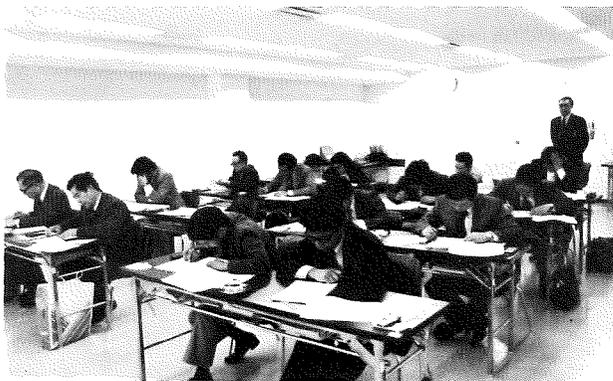
大阪 岡田城治 日本化成工業(株)

東京 雪入毅 マサル工業(株)

香川 益田憲司 (有)高分子工材

東京 渡辺哲郎 (株)丸福産業

広島 狭間述史 大阪アルファ産業(株)



「よいシーリング工事とは…」

—1級シーリング管理士養成講習会における 討論会より—



1級シーリング管理士養成講習会の第2日目の3月3日に、受講者全員とメーカーの聴講者、それに講師が参加し4つのグループに分れ、上記テーマで討論会を開催した。ここにその内容をまとめ報告する。

近代建築構法において、水密、気密を目的としたシーリング工事の量は増えて来ており、その評価も高まってきている。

一方、未だにシーリング工事関係者——設計事務所、ゼネコン、施工業者、メーカー——間に、材料・施工等における問題意識の相違が見られ、「よいシーリング工事」が行なわれるまでに、なお幾多の課題が山積している状況にある。

これら各関係者がシーリング工事における問題に関して、同レベルのところまで問題意識を持たなければ、最終的な解決につながらない。

シーリング工事はまた、各種建築工程の最終後に行われ、その性質上一番クレームの対象となりやすい分野である。雨じまいに関するクレームは、使用するシーリング材の良し悪しと、施工の優劣によって生じる。それらのクレームへの対処を通じて、材料および施工性の改善、その機能評価の確立等が計られ、今日、材・工一体となった業界の発展となってきている。

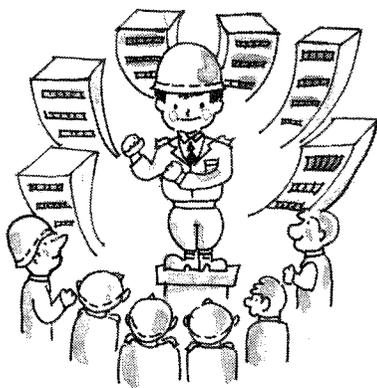
シーリング材は現場に入って施工されてはじめて一つの製品となる。したがって、すべての関係者が「シーリングとはいかに大切なものか」という認識を新たにすることが、まず重要である。建築総工費のウェイトからすれば、シーリング工事はほんのわずかなものだが、その役割は大きい。

そういった基本的な問題をふまえて、各関係方面における問題点と要望事項をまとめてみたいと思います。

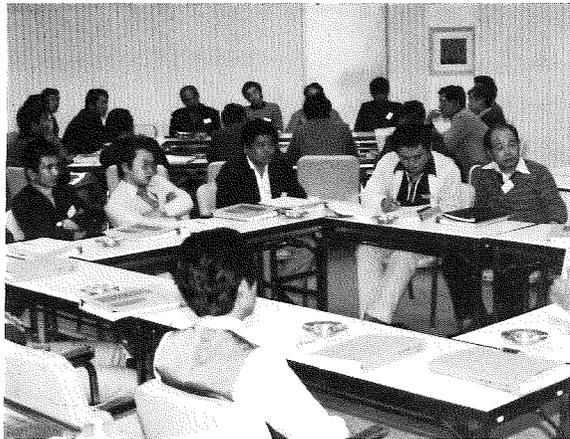
▶設計事務所への要望事項

- ①シーリングに対する正確な認識を持ってほしい
- ②構造から施工まで管理できる能力、人員の保持
- ③施工段階における事故予測をし得るだけの技術力と問題意識を持ってほしい
- ④施工手順の明細化

シーリング工事に関して言える事だが、設計と施工とのつながりが弱い。現在、数多くの設計事務所があるが、構造からシーリング施工まで管理されている事務所はまづまれである。したがって実際の現場の状態がなかなか



理解されず、図面上シーリングをしなければならないという指示、標記があってもその通り施工されていないケースがある。その結果シーリング工事が形式上のシーリングでしかないというケースが出てきて、これを黙認すれば必ず事故に結びつく。こういう点、実際の工事を進める段階において事故を予測し、必要に応じて設計を変え得る技術力、問題意識をもっていただきたい。



▶ゼネコンへの要望事項

- ①シーリング施工に対する認識を現場のあらゆる関係者まで徹底してほしい
- ②管理体制に万全を期してほしい
- ③シーリング工事はシーリング専門業者に分離発注
- ④ゼネコン間におけるシーリング施工要領書の統一化
- ⑤施工業者に過大な要求は避けてほしい
- ⑥適正価格で施工されるような体制整備をはかる

工期との関連もあるが、シーリング施工に関する管理体制を見直してほしい。現実に目地などが不完全でも施工されているし、また徹夜作業も強いられることもあり、安全上及び接着面に対しても良い結果は出ない。これはシーリングの大切さ、難しさを認識してもらう事にも通じる事である。その努力はメーカー、施工業者の役割でもある。その認識が高まれば、自然とシーリングはシーリング専門業者に分離発注しなければならないという形になってくるであろう。

現在、超高層から低層建築に至るまでシーリング材料による防水、気密性が非常に優れているという認識があるが、一方、便利なるがゆえに施工業者に対し、性能を越えた過大な要求がでる場合もある。

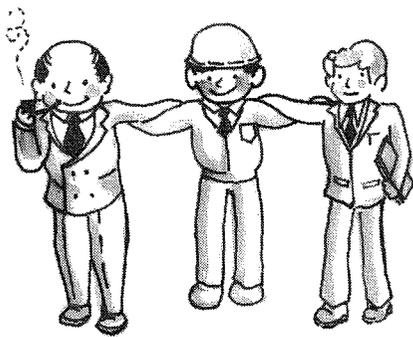
シーリング工事はメーカーと施工業者が材工一体で工事をすることが望ましく、出来ればゼネコン間で施工要領書の統一をしてもらいたい。また施工者サイドから適正価格で工事をしたいという要望を是非、前向きに対処してほしい。

▶メーカーへの要望事項

- ①プライマーも含めた製品性能の向上に努力してほしい
- ②材料の限界を詳細に提示する
- ③適正価格への協調体制
- ④関係方面へのPR、技術・アフターサービスの充実
- ⑤現場での技術フォローの徹底
- ⑥材工一体となって保証問題にとりくむ

メーカーはその技術力、建築知識、高分子化学知識をフルに活用して、製品性能を十分高めてもらいたい。現実に適正を欠く材料が供給されているという事実がある。

そして、現場で材料の性能、耐久性を無視したような施工が行なわれているケースがあるが、明確に、それを指導・改善する必要がある。そういう問題も含め、メーカーはテストピースと現場でのデータの違いの資料を集め、極力、現場の環境状況に近いデータで、指導、技術フォローをやっていただきたい。材料を売り放しにするのでなく、現場管理をお願いする。ゼネコンに対しては施工業者の説明よりメーカーの技術の人のほうがより良い理解が得られるかと思う。施工業者とメーカーが一体となって、限界内での適材適所の使い方を徹底すべきであろう。



またプライマーに関して、表面塗装で一年経ったらその表面の処理の問題が変わってきているということもあり、塩ビ鋼板などの被着体のテストにおいても接着するというメーカーもあれば、グメだというメーカーもあるので相互の統一をはかり開発してってもらいたい。

それと、いわゆる弾性シーリング材は二面接着が基本ベースですが、特に層間変位の少ないRC、SRC構造の打継目地、および誘発目地の場合、三面接着でもよいのではないかの意見もある。

メーカーはこれら技術力に基づいてのゼネコン設計事務所に対するPRをもっと積極的にやってほしい。それにはディスカッションもやり、工事をやっていくなかで事前の打ち合せというものがなされる必要があるでしょ

シーリング工事には当然、保証問題もからんできます。大小物件にかかわらずメーカーはやはり現場に出て物件を見、材料を選び、限界をこえる無理な施工は避けるよう指示するなど、材工一体となった技術的フォローが必要であろう。

▶施工業者に対する要望事項

- ①シーリング管理士による社内教育の実施
- ②職人の技術力、問題意識の昂揚をはかる
- ③適正なる見積り価格の設定に努力する
- ④労務管理、技術管理を向上させ会社内の組織強化

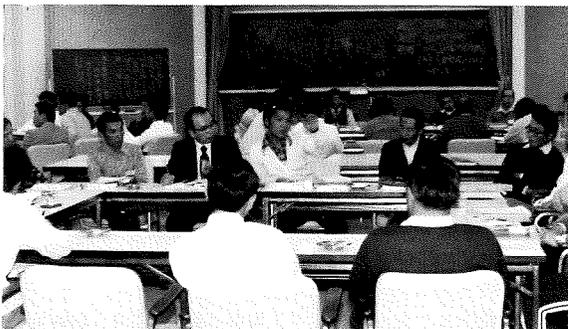
各施工業の経営者は、まず実際に、現場工事をする職人の技術力、問題意識を高めることが大切である。表面的にやってしまうという意識でなく、それがどこにどうつながっていくかということをはっきりと解ってもらわなければならない。

また、施工店の立場においては、適正価格で受注するにはどうしたらいいかという問題が一番重要かと思う。価格が高いため他の業者と比べ、受注出来ないという事のないよう、技術と営業力のバックアップをしなければならぬと思う。また、シーリングの原点にもどり、末端部までの教育によるレベルアップをはかるとともに、仕事にプライドを持たせるよう教育する必要がある。

よいシーリング工事はあくまでも施工業者側の技術的なデータを蓄積して、次の施工に応用していくという技術的、労務管理的なフォローがあってはじめて生まれ、また適正価格が実現できる訳でもある。適正価格だけをとらえても意味はないであろう。これは施工業者サイドの最大の問題であると考える。

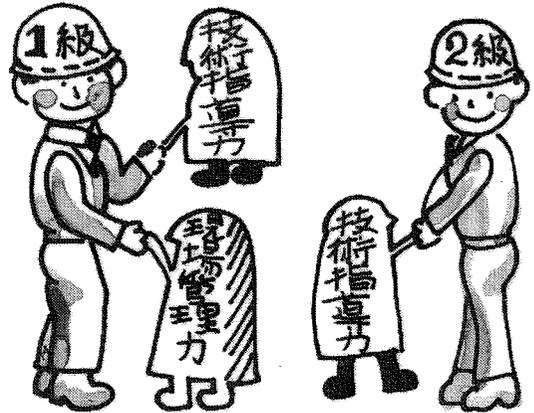
クレームが出れば施工会社とメーカーはその場しのぎでなく根本的な解決をはかることをやり、クレームから出たデータを生かしていかなければならない。

施工業者の労務管理、技術管理を例えば仕様書を作り末端まで徹底させるという意味での会社内の組織を強固にしていくことも重要な点であろう。



▶日本シーリング工事業協会、日本シーリング工業会への要望事項

- ①組織内の協調、協力体制の確立
- ②シーリング管理士も含めた、シーリングそのものの外部に対するPR
- ③工事の標準化を進める



両団体組織がまだまだ力が足りないように見え、またそれを構成している会社の組織力の不足も指摘できるかと思われる。そして、北海道、東北、関東、関西、九州の地域的な格差が見受けられ、これらが結局よいシーリング工事への阻害となる面でもあろう。

外部機関への働きかけを行うまえにまず十分通用するよう、内部の充実、協調、協力体制を確立していくことからであろう。そこではじめて外部にアピールをし、問題意識を高めさせ、建築全体が進んでいる工事の標準化に近い形にもっていきける体制を推し進めれば、よいシーリング工事も可能というものである。

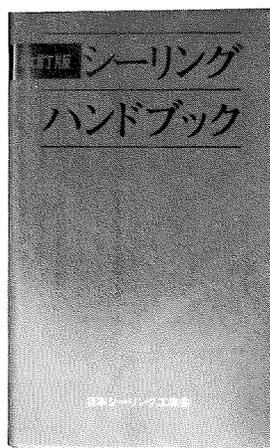
シーリング管理士のライセンスを与えるだけで終わるのではなく、それがどれだけ権威のあるものかを認識させ、建築業界における公的地位の向上につとめていただきたい。ゼネコン、設計事務所の参加を呼びかけての一体となった講習会を開催するのも効果的であろう。現在500名以上のシーリング管理士が誕生しているが、誇りと権威をもって有効な活動が出来るような場をつくり出していかなければならないのではないかと。

ここで取り上げられた問題は、一つ一つが大切な指摘であり、それぞれ解決していくことがよいシーリング工事へのアプローチでもある。そして、これら諸問題はどうしてもやらなければならないものばかりで、かなり時間のかかる問題でもあり、一步一步前進していかなければならない。関係各位の御理解をお願いしたい。

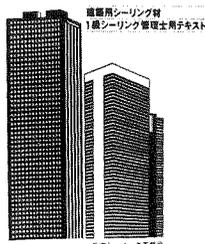
本部活動報告

12月	<ul style="list-style-type: none"> ●「シーリングニュース」No.6の発行。会員、シーリング施工業者、関係団体、官公庁、ゼネコン設計事務所等に配布した。 ●JASS委員会よりの要請により、改訂作業中の「JASS8-5 シーリング工事、解説」中の基材説明文を作成提出した。 ●保証に伴う付帯条件を取纏め試案作成を決定。
1月	<ul style="list-style-type: none"> ●熱海温泉西熱海ホテルにおいて新年総会、合同分科会、日シ協との材工懇談会を開催した。 ●当面する諸問題（○1級シーリング管理士講習会○容器統一問題○新JIS、JASS改訂説明会開催、アウトサイダーへの材料販売○適正価格の確保○情報交換）を討議した。 ●機関誌「シーリング」No.16を発行、各方面に配布した。
2月	<ul style="list-style-type: none"> ●「シーリングハンドブック」改訂版を発行、各方面よりの求めにより有償（1冊600円送料別）配付した。 ●当工業会の社団法人化についてその得失を検討した。 ●「1級シーリング管理士テキスト」を作成、受講者および各方面の希望者に有償（1冊4,500円送料別）配付した。
3月	<ul style="list-style-type: none"> ●第2回1級シーリング管理士講習会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ○日時 3月2～4日 ○場所 生産性研修会館（静岡県函南町） ○参加者 1級シーリング管理士受講者34名 聴講者31名（会員会社） ○講師 各界の研究者、実務者11名 ●1級シーリング管理士試験実施 <ul style="list-style-type: none"> 3月27日 東京・大阪において1級シーリング管理士講習会終了者に対し試験を行った。
4月	<ul style="list-style-type: none"> ●第2回1級シーリング管理士試験合格者を発表 ●工業技術院大磯技官をお招きし、JISA5758(建築用シーリング材)の審査要項、受審について打合会を開催

シーリングハンドブック(改訂版)

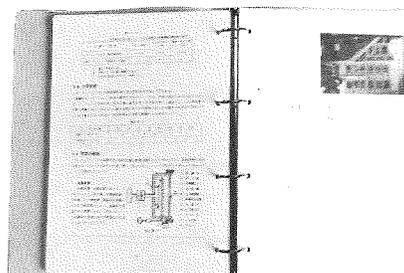


新刊書 紹介



建築用シーリング材 1級シーリング管理士用テキスト

わかりやすく再編集され、装幀も新たになって登場したこのテキスト、第2回1級シーリング管理士養成講習会に使用された。



新たに54年春に発行するJISA 5758（建築用シーリング材）、JASS 8（防水工事）、JASS 17（ガラス工事）に関する資料を挿入し、設計編の充実、材料性能記載法の統一、また材料別、メーカー別商品一覧表の添付など見やすく、使いやすさに留意し編纂されている。

●詳細は▶日本シーリング工業会へ☎03-255-2481～2

業界動向

項目	最近の動き	今後の動き	寸評	
建築着工	昨年中の全建築物の着工床面積は231,997千㎡と前年に比べ6.2%増であった。公共建築物は14.5%と順調な伸びを示したが、一方民間建築物は4.9%の伸び。1月に入り新設住宅の大幅な落ち込みの半面、鉱工業用は26.1%増と5ヶ月連続前年を上回り、景気回復基調が定着したかとみえる。	公共需要は順調のようだが、政府の一般住宅産業への施策とからみ、果してそれがどの程度民間需要を刺激するかに期待がかけられる。また最近にみる石油事情と経済動向も少し気かりな一面でもある。		
関連業界	カーテンウォール	PC（プレキャストコンクリート）カーテンウォールに関して、昨夏以来やや上昇の傾向にあるものの全国的にみて依然横バイ状態に近い。地域差もあるが関東での受注は上昇気配。地方自治体では地域社会開発、公共施設優先傾向が効を奏してきている。	第2次オイルショックと円高から円安傾向への不穏な経済でこの業界にもコスト20%程度の上昇が年内にも予想されている。需要にどう影響するか、先行きに不安要因もある。	
	サッシ	昨年のアルミサッシ出荷量は約46万トンと昨年比4%増とオイルショック前と同等の出荷量で回復してきた。トータルして目立った特徴は、シーリング材とも関連深いビル規格用、公共住宅用、オーダー用の伸びが17~20%増と好調だったことだろう。	昨年の変化と増加傾向が引き金となって、民間の建造意欲刺激にもつながることを期待したい。54年度もサッシ全体で10%程度の増加が見込まれ、順調に続くものと予想される。	
	板ガラス	普通板、変わり板ガラスは徐々に減少、かわってフロート、みがき板ガラスは順調に推移している。最近、この方向に変化し後者は高価であるが製品付加価値が高く、効率のよさと増産によるコストダウンも可能で割安ということになる。	フロート、みがき板ガラスの需要が順調に伸びているが、建築関係ではそれほどの伸びはしていない。業界としてはこの方面での伸びに期待か。	
	ALC	昨年は快調な伸びを示し、出荷量で約14%増と史上最高となった。中高層建築、一般住宅へと需要が着実に開拓され、また学校などの公共施設の他、倉庫、工場などに需要も伸びてきている。	今後、中高層建築を中心的な需要分野として堅実に伸びていくであろう。住宅分野でもなお一層のシェアが拡大されるものとみられる。また民間需要の早期回復が期待される。	
	シリコーン	昨年は約3,000トンと急増著しかった。なかでも、2成分形が新規用途需要の開拓で着実にそのシェアを伸ばしてきている。	メーカーでは積極的な販売姿勢がみられ、また用途の拡大、製品開発などと活発化の大きな流れに順調な伸びが期待できるとみられる。	
主要シリコン	変成シリコーン	新しい弾性シーリング材として注目を集めての登場。すでに8社が上市、なお数社が目下準備中である。	誕生からまだ間もない変成シリコーンで課題点もいくつかあり、メーカーではこれをどう解消し、より許容性あるシーリング材としてその地位を確保するかが注目される。	
	ポリサルファイド	年々の伸び率は若干にぶっているが、全シーリング材の出荷量中で10~15%増とその線を保持し、堅調。	メーカーの販売姿勢により、主要メーカー間での格差が生じており今後ますますその傾向が強まると予想される。	
	ポリウレタン	2成分形がPC板のジョイントの順調な伸びに支えられ、1成分形も小型物件ながらもその需要を着々と伸ばしてきている。	1成分形で新規参入会社加わり、工業化住宅産業の成長につれ、この分野の需要拡大が注目されよう。これまでの経済性の良さが現状にきてどう動くか。	
	アクリル	昨年は主用途のALC板需要の好調な伸びに支えられ、約90%増と最高の伸びを示した。	寒冷期も過ぎ、今後の需要は堅調な伸びを昨年に続き持続するものと見込まれる。	
	油性	減少傾向は目に見えて明らかではあるが、低価格で未だその地位は保持されている。	弾性シーリング材におされ、年々10%前後の減少、落ち込みは避けられないものとみる。	

短歌・俳句

今もお 花咲く度びに 偲ぶるは
祖母につれられ 入学の日の (千 青)

「三宝寺池 石神井城址」

加藤 正守

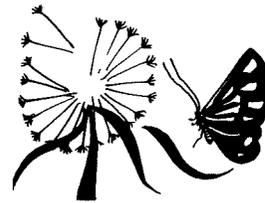
黄金の鞍沈みし池とや風光る
朱褪せて傾ぐ小祠や草萌ゆる
リモコンの帆船春の風はらむ

枯芦の三宝寺池に面して、石神井城址の石碑が建っている。背面の急な坂道をのぼった丘のあたりが二の丸址らしいが、いまはその面影を偲ぶことはできない。石神井城は、坂東平氏の流れをくむ豊島家の居城で、文明九年、太田道灌との戦に敗れた城主豊島太郎泰経は、黄金の鞍にまたがって三宝寺池に沈み、二女照子姫は後を追って入水したと伝えられている。晴れた日には黄金の鞍が陽に映えてみえるという。対岸の小高い木立の中に殿塚、姫塚の小祠が祀られている。三宝寺池は、水鳥が多く、浮き島にはいまも沼沢植物がみられ、風致地区になっている。井桁に組まれた石淵からは春の水が豊かに溢れ、リモコン帆船は春の風を一杯にはらんで相競っている。

「草むしろ」

千 青

揚げ雲雀 子守歌かよ 子雲雀に
かげろうの 彼方に二蝶 もつれ飛ぶ
草に寝て いずこの花か 顔に散る
鼻先きに たんぽぽ堇 草むしろ
青柳に 肩なでられつ 岸の道



「布施弁天」

井手 筒子

我孫子の稲荷峠から国道6号線を東京に向って5分程走るとそこに新しく完成した北柏駅がある。ここで右に折れて利根川の方に数分走ると家並が途切れ、こんもりと木の茂った丘が見えてくる。今度はそこを右に曲ると高い石垣とひなびた茶屋が目に入ってくる。高い石垣の上には、江の島、不忍の弁天様とともに関東三弁天の一つといわれる布施弁天がある。閑静なたたずまいに、別世界に遊ぶ心地である。雲に乗って飛来したという天女伝説、竜宮城を模した楼門、十二支の彫刻で方位を表わした鐘楼などと、花の名所としても有名。境内には、

涼しきや 真帆に真向きの 山なれば (芭蕉)

の苔むした句碑を訪ねて杖を引く俳人も多く、札所めぐりのお遍路さんの姿がたえないという。

花の下 鐘の音を聞く 布施の里
花の山 色気の欲しき 布施弁天
鐘の音に はらはらと散る 布施の花
参詣の 人に踏まれし 落のとう

ダブルエイジ・シュート

小池 迪夫

外国では、ゴルフの自慢話は金を貰って聞けという。しかし、以下は自慢どころか愚痴に近い話だから、金は払えない。

貧乏を余儀なくされた子供の頃の反動かもしれないが今まで色々なものに手を出して、いずれもモノにならずにいる。一寸、思い出しただけでも文章書き、作詩、絵画、写真、8ミリ、将棋、囲碁、チェス、麻雀、花札、カード、パチンコ、軟式野球、テニス、卓球、弓、釣り、ヨガ、料理、クラシック音楽鑑賞、歌謡曲、ダンス、カラオケ…エトセトラ、エトセトラ。どうも才能不足の故

に、熱し易く止め易い(決して冷め易い…のではないつもり)。

そんな中で、今年はゴルフの上達をと、決心をしたことはしたのだが、プロにつくどころか練習場にも通わない有様ではどうにもならない。テレビで小松原三夫やボブ・トスキのレッスンを見る程度で、上達するのなら全国にシングルが溢れてしまう。

先日までパットが悪く、1ラウンド44などと極端な不調で、思いあぐねた末、お蔵入りしていたパターを持ち出したら、33パットと本人も驚く好調さ。しかし、今度はドライバーとアイアンが駄目でグロスが95。それでもダブルエイジ・シュートは昨年来の成績で、この分なら念願の……いや、それは実現の暁ということにして、御同輩、今年こそ頑張ろうではないか。

日本シーリング工業会の概要

性 格 組 織

本会はわが国における建築用、土木用シーリング工業の健全な発展と振興を計ることを目的として、昭和38年2月に設立されました。会員はわが国のシーリング材メーカーが加盟し、賛助会員は原材料メーカー 取扱業者が加入しており、全国に6支部を有する全国的組織であります。

事 業

- シーリング管理士の養成
- 日本シーリング工事業協会と連繫、材料および工事に對する信頼の確保
- 技術資料の収集と情報の交換
- JIS、JASSへの協力
- 市場調査、需要開発に関する調査研究

発行図書

- 機関誌「シーリング」(年1回)
- シーリングニュース(年3回)
- 建築用シーリング材とその正しい使い方
- シーリングハンドブック(改訂版)
- 1級シーリング管理士用テキスト

★表紙の言葉★

江戸時代に松平菖翁が日光山中で、花菖蒲の原種を見つけて、それを培養して江戸花菖蒲となった。当時は紫一色であった由、そのためか尾形光琳の銘筆花菖蒲は紫紺の色彩のみに成っている。さて面白いのは、参勤交代の藩士に分譲を受けて伊勢松坂とか肥後熊本に持帰り培養に励むうちに、変異して花卉の形状とか色調変化など変転して幾年かの後、江戸に持ち寄り各地のものも揃えて展示した処、珍種雑多に及んだ由。其の三百有余年の今日にては、花卉の形も丸いもの、ハート形、長く菱形や、団扇の様に広いものや、弁脈の異色も様々となって

日本シーリング工業会会員

- | | |
|---------------|---------------|
| アサヒボンド工業(株) | (株)東京ボース工業社 |
| イイダ産業(株) | トーレ・シリコーン(株) |
| (株)エービーシー商会 | (株)日興社 |
| 小野田建材(株) | 日新工業(株) |
| カネボウエヌエス(株) | 日東化成工業(株) |
| 鐘紡合成化学(株) | 日東ポリマー工業(株) |
| 関西パテ化工(株) | 日本合成ゴム(株) |
| 栗山ゴム(株) | 日本シーカ(株) |
| コニシ(株) | 日本添加剤工業(株) |
| 三英ポリマー工業(株) | 日本合成化学工業(株) |
| サンスター化学工業(株) | (株)日本化学研究所 |
| 三洋工業(株) | 日本特殊塗料(株) |
| 鐘栄産業(株) | 日本ペルノックス(株) |
| 昭和石油アスファルト(株) | (株)ノーベル樹脂化学 |
| シャープ化学工業(株) | (株)服部商店 |
| 信越化学工業(株) | 早川ゴム(株) |
| 新東洋合成(株) | 保土谷建材工業(株) |
| 住友スリーエム(株) | ポストック・ジャパン(株) |
| (株)スリーボンド | 三井日曹ウレタン(株) |
| 世界長(株) | 三星産業(株) |
| セメダイン(株) | 明星チャール(株) |
| ソニーケミカル(株) | モルナイト興業(株) |
| 大和高分子工業(株) | 山内ゴム工業(株) |
| 武田薬品工業(株) | 横浜浜ゴム(株) |
| テイパ化工(株) | ラサ合成樹脂(株) |
| 東芝シリコーン(株) | (株)ハイケミカル |
| | 製鉄化学工業(株) |

日本シーリング工業会の組織

委員会	分科会	支部
総務委員会	シリコーン分科会	名古屋支部
技術委員会	変成シリコーン分科会	大阪支部
広報委員会	ポリサルファイド分科会	福岡支部
調査委員会	ポリウレタン分科会	広島支部
シーリング管理士検定委員会	アクリル・SBR分科会	北海道支部
	ブチル分科会	仙台支部
	油性分科会	

池園に賑いを見せている。表紙のものは大阪の城北公園で見た一部のものです。序に、①花菖蒲②深紫^{アヤメ}③杜若④いちはつ、何れも「アヤメ科」。①は花卉広く三方に垂れて中心上部に小弁5~6枚②花卉大小の差少なく四方に垂れて紫色が多い③首下長く花卉の広さがせまくて、じみである④青葉が広く厚みがあって青白く花は①によく似ている。
 謡曲「杜若」に、花あやめ かきつばた 似たりや
 にたり 花の あやめの 浅紫の となるのをみると、
 昔から誰しも見分けがたいものであった由。(山本照夫)

日本シーリング工業会

東京都千代田区外神田 2-2-17 共同ビル

TEL 03 (255) 2 8 4 1 ~ 2

企画制作・日本シーリング工業会広報委員会

編集協力 (株)工文社 東京都千代田区神田佐久間町3-21

☎ 03-866-3504
